

授業概要

この授業では、育つ、育てる、生きることを、発達、臨床、教育などの心理学の視点から学んでいきます。児童期の子どもの学習、学校での諸問題（友人関係、いじめ、先生との関係）、しつけと子どもへの援助の問題をとりあげ、対応策を考えていきます。青年期は独立への準備段階です。青年期の様々な課題をとりあげ、対応策を考えていきます。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	子どもの発達課題について
第3回	子どものパーソナリティと対人関係の発達
第4回	子どものメンタルヘルスについて
第5回	児童期から青年期へー移行期の課題（学校とは何か）ー
第6回	児童期から青年期へー移行期の課題（アイデンティティの確立）ー
第7回	児童期から青年期へー移行期の課題（親との関係）ー
第8回	感情から見た青年期の特徴
第9回	ソーシャルサポートについて
第10回	青年期の自己嫌悪感
第11回	青年期における親子関係の発達の变化
第12回	女子のグループという人間関係
第13回	大人になるとはということか
第14回	青年期における友人関係の発達の变化
第15回	青年期の孤独感
第16回	筆記試験

到達目標

1. 生涯発達の視点から、児童期から青年期にかけて生じる変化や問題を主要なエピソードに基づいて理解する。
2. 児童期・青年期の特徴について、発達心理学、教育心理学、臨床心理学の視点から理解する。
3. 青年期である自分についても理解を深める。

履修上の注意

- ・臨床心理学、発達心理学の知識は不可欠となります。
- ・教育心理学についても基本的な知識が必要になります。

予習復習

予習・復習の便宜を図るため、資料は毎時間配布します。リアクションペーパーの質問コーナーに質問していただければ、翌週、必ず応えます。講義の予習・復習になりますので、積極的に活用してください。

評価方法

学期末試験70%、授業内レポート（毎回提出するリアクションペーパーへのコメント、講義への参加意欲等）30%で評価します。

テキスト

資料はその都度配布します。
杉山雅宏著「児童青年心理学」東京六法出版（近著）